

2022年度自己評価表（京都 YMCA 国際福祉専門学校 日本語科）

1. 学校の教育目標

本校はキリスト教精神に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り、文化教養専門課程及び社会福祉専門課程を設置し、外国語、日本語・日本文化、健康福祉及び社会福祉の知識並びに技能を教授するとともに広範な国際的視野をもって、地域社会と人々とに奉仕する人材を養成することを目的とする。

【日本語科】

- 1). 大学及び大学院進学に必要な総合的な日本語力を養成します。
- 2). 日本語の学習を通して日本社会及び日本文化に対する理解を深めます。
- 3). YMCA の活動を通して国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材を育成します。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1). 地域ニーズを踏まえ、行政・就業先・他 YMCA 等団体と深く連携・共同し、グローバル人材の養成を行う。
- 2). 各学校の特色あるカリキュラム作りを組織的に実行し、次代の社会ニーズに呼応した教育内容の改編及び強化を行う。
- 3). 各学校における地域の生涯学習事業（付帯教育）の拡大
- 4). 学園のデジタル教育化を進め、合理的運営を図り、学生の利便性を高める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1				
理念（使命）と教育目標が教職員、学生に周知されているか。	<table border="1"><tr><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr></table>	4	3	2	1
4	3	2	1		

<取り組み>

- ・学期開始前の教職員会議にて教育目標の確認を行っている。入学前は募集活動の際に、入学後はガイダンスにて本校の使命や教育目標を説明している。

(2)組織

(2-1)組織体制

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合しているか。	4	3	2	1
事業規模に応じた組織体制になっているか。	4	3	2	1
受け入れようとする学生の言語に対応できる組織となっているか。	4	3	2	1

<課題と対応>

- ・漢字圏の学生への対応は従前より問題なく行えているが、非漢字圏の学生が増加しつつあり、多言語対応が必要となってくることが予想される。IT 通訳・翻訳技術の導入等テクノロジーを活用した実務を行っていく。

(2-2)教員組織

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
校長、主任教員及び教員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定める要件を備えているか。	4	3	2	1
校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか。	4	3	2	1
教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示されているか。	4	3	2	1

<取り組み>

- ・法務省告示校としての届出により適切に備えられている。また、校内人事組織表と職務権限等業務組織表を各教職員に配布している。

(2-3) 事務組織

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。	4 3 2 1
生活指導責任者及び入管事務担当者が学生及び教職員に周知されているか。	4 3 2 1
入国管理局により認められた申請等取次者を配置しているか。	4 3 2 1

<取り組み>

- ・申請等取次者や入管事務担当者を複数名配置しており、在留管理については教職員間で事務担当者を中心に情報共有されている。

(2-4) 採用と育成

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1
教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されているか。	4 3 2 1
教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取り組みをしているか。	4 3 2 1
教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。	4 3 2 1
教員及び職員の評価を適切に行っているか。	4 3 2 1

<取り組み>

- ・教員募集の際には細かく明文化された雇用条件を提示している。定期的な講師会議において質の向上を図ったり、全国にあるYMC Aグループの他校と連携した研修に参加させている。

<課題と対策>

- ・ハラスメント防止等の研修機会の増加と人事評価システムの確立を充実させる。

(3)財務

(3-1)財務状況

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
財務状況は、中長期的に安定しているか。	4	3	2	1
予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。	4	3	2	1
適正な会計監査が実施されているか。	4	3	2	1

<課題と対策>

・コロナによる入国制限もあり安定した学生確保に苦慮し、財務状況が一時的に悪化した
が、学園内の他校や他学科との連携も図り、予算達成に向けた計画を立案している。

(4)教育環境

(4-1)校地、校舎

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
教育機関として適切な位置環境にあるか。	4	3	2	1
安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。	4	3	2	1
校舎面積は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか。	4	3	2	1

(4-2)施設、設備

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
教室、その他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか。	4	3	2	1
教室内は、十分な照度があり、換気がなされているか。	4	3	2	1

すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。	4	3	2	1
授業時間外に自習できる部屋が確保されているか。	4	3	2	1
教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか。	4	3	2	1
視聴覚教材や I T を利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されているか。	4	3	2	1
教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されているか。	4	3	2	1
同時に授業を受ける生徒数に応じたトイレが設置されているか。	4	3	2	1
法令上必要な設備等が備えられているか。	4	3	2	1
廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。	4	3	2	1
バリアフリー対策が施されているか。	4	3	2	1

<取り組み>

- ・オンライン授業に対応できるように教室には WIFI 環境を整えている。

<今後の課題>

- ・全教室に AV 機器設置導入を目指す。

(5)安全・危機管理

(5-1)健康・衛生

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
健康、衛生面について指導する態勢を整えているか。	4	3	2	1
対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて、留学生保険にも加入しているか。	4	3	2	1
重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めているか。	4	3	2	1
感染症発生時の措置を定めているか。	4	3	2	1

<特記事項>

他学科に看護師資格を持つ教員もおり、緊急時には対応することになっている。

(5-2)危機管理

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
危機管理体制が整備されているか。	4	3	2	1
火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めているか。	4	3	2	1
気象警報が発令された場合の措置を定めているか。	4	3	2	1
災害等に対する避難訓練を定期的に行っているか。	4	3	2	1
防災用品が備蓄されているか。	4	3	2	1

<今後の課題と対策>

- ・避難訓練の実施が不定期となっているため、定期実施が必要である。

(5-3)法令の遵守等

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
法令順守に関する担当者を特定しているか。	4	3	2	1
教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っているか。	4	3	2	1
個人情報保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか。	4	3	2	1

(6) 運営全般

(6-1) 組織的な運営

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか。	4	3	2	1
管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか。	4	3	2	1
意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか。	4	3	2	1
予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか。	4	3	2	1
業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか。	4	3	2	1

<取り組み>

- ・ 定期的な教職員会議の開催により運営手順の確認や業務見直しを行っている。

(6-2) 納付金

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されているか。	4	3	2	1
学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。	4	3	2	1
関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか。	4	3	2	1

(6-3)情報の共有化及び発信

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがあるか。	4	3	2	1
内部からの情報発信が効率的に行われているか。	4	3	2	1
入学希望者・学習者及びその利害関係者(経費支弁者等)の理解できる言語で情報提供を行っているか。	4	3	2	1

<今後の課題と対策>

- ・東南アジアを中心とした非漢字圏の入学希望者が増えており、英語以外の言語での情報提供ができていないため翻訳 AI 等を積極的に活用する。

(7)学生募集

(7-1)募集方針

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定しているか。	4	3	2	1
募集定員を定めているか。	4	3	2	1
機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか。	4	3	2	1

(7-2)募集活動

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
教育内容、教育成果を含む、最新、かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されているか。	4	3	2	1
求める学生像を明示しているか。	4	3	2	1

応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示しているか。	4	3	2	1
募集活動を行う国・地域の法令を遵守し募集活動を行っているか。	4	3	2	1
海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っているか。	4	3	2	1
海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	4	3	2	1

<今後の課題と対策>

- ・東南アジアを中心とした非漢字圏の入学希望者が増えており、英語以外の言語での情報提供ができていないため翻訳 AI 等を積極的に活用する。

(8)教育活動

(8-1)企画

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか。	4	3	2	1
教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか。	4	3	2	1
レベル設定に当たっては、国内で又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか。	4	3	2	1
教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。	4	3	2	1
カリキュラムは、体系的に編成されているか。	4	3	2	1
教育目標に合致した教材が選定されているか。	4	3	2	1
補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにすると共に、著作権法に留意しているか。	4	3	2	1

授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供しているか。	4	3	2	1
教員配置が適切になされているか。	4	3	2	1

(8-2)実施

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
授業開始までに学生の能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。	4	3	2	1
教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習暦その他指導に必要な情報を伝達しているか。	4	3	2	1
開示されたシラバスによって授業が行われているか。	4	3	2	1
修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか。	4	3	2	1
教育内容に応じて教育用機器を活用しているか。	4	3	2	1
授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか。	4	3	2	1
理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われているか。	4	3	2	1
学生の自己評価を把握しているか。	4	3	2	1
個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか。	4	3	2	1
特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。	4	3	2	1
授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか。	4	3	2	1
学習内容、時間割と学年暦、成績判定の基準と方法、学	4	3	2	1

習上の留意点、留学生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名漢字圏、非漢字圏の習熟度合いにおいてクラス編成を行い、レベルに応じたカリキュラムにより体系的に学習を進めている。また、教員においては教授する方法、準備等が取れるように授業のコマ割を行い、定期的な研修等サポートを行っているか。	
--	--

(8-3)成績判定

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか。	4	3	2	1
成績判定結果を的確に学生に伝えているか。	4	3	2	1
判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。	4	3	2	1

(8-4)授業評価

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
授業評価を定期的実施しているか。	4	3	2	1
評価態勢、評価方法及び評価基準が適切であるか。	4	3	2	1
学生による授業評価を定期的実施しているか。	4	3	2	1
評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか。	4	3	2	1

<特記事項>

- ・学生からの授業評価アンケートを定期的に取り替えている。

(9) 学生支援

(9-1) 支援体制

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
学生支援計画を策定し、支援態勢が整備されているか。	4	3	2	1
休日及び長期休暇中の学生対応ができていますか。	4	3	2	1

<今後の課題>

- ・長期休暇中における学生との連絡方法を一元化して確立する必要がある。

(9-2) 日本社会を理解し、適応するための支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
入学直後のオリエンテーションを実施しているか。	4	3	2	1
生活に関するオリエンテーションを実施しているか。	4	3	2	1
地域交流や地域活動を実施しているか。	4	3	2	1

(9-3) 生活における支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
住居支援を行っているか。	4	3	2	1
アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。	4	3	2	1
交通事故等の相談態勢が整備されているか。	4	3	2	1
定期的に健康診断を実施しているか。	4	3	2	1
学生全体の生活状況について定期的に調査しているか。	4	3	2	1

(9-4)進路に関する支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
進路指導担当者が特定されているか。	4	3	2	1
学生の希望する進路を把握しているか。	4	3	2	1
進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。	4	3	2	1
入学時から一貫した進路指導を行っているか。	4	3	2	1

(9-5)入国・在留関係に関する指導及び支援

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っているか。	4	3	2	1
入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか。	4	3	2	1
在留に関する学生の最新情報を正確に把握しているか。	4	3	2	1
在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか。	4	3	2	1
不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っているか。	4	3	2	1
過去 3 年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。	4	3	2	1

(10)教育成果

(10-1) 成果の判定

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
進級及び卒業判定が適切に行われているか。	4	3	2	1
本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。	4	3	2	1

(10-2) 卒業生の状況の把握

評価項目	適切…4, ほぼ適切…3, やや不適切…2, 不適切…1			
卒業生の状況を把握するための取組みを行っているか。	4	3	2	1
卒業後の進路を把握しているか。	4	3	2	1
進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握しているか。	4	3	2	1

<今後の課題と対策>

- ・卒業生の追跡調査が非常に困難である。SNS 等によるつながりを継続するか同窓会組織の立ち上げも含めて検討する。